

6年1組 社会科学学習指導案

平成17年10月15日(土)

指導者 金沢市立大浦小学校
教諭

1. 小単元名 幕末・明治維新 ～日本の未来の姿を見つめた大久保利通～
2. 目標
- ・幕末から明治維新にかけての様々な出来事や諸改革、大久保を始めとする若き志士たちの活躍と願いについて関心を持ち、意欲的に調べようとする。(関心・意欲・態度)
 - ・大久保をはじめとする若き志士たちが、よりよい日本の姿を求め、様々な行動や諸改革を行った背景にある思いについて考えることができる。(思考・判断)
 - ・幕末から明治維新にかけての様々な出来事や諸改革について資料を用いて調べ、分かりやすくまとめることができる。(観察・資料活用の技能・表現)
 - ・開国後に幕府が倒れた原因、列強国に追いつき・追い越すために明治政府が様々な諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる。(知識・理解)

3. 指導にあたって

(1) 教材について

視点1 子供が人々の働きや生き方に迫り豊かな人間性を育む教材の開発

本小単元は、幕末から明治の初めにかけての歴史的事象を具体的に調べることを通して、我が国は様々な諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすることをねらいとしている。ペリーの来航による開国を境に、若き志士たちを中心とした討幕運動は大きく高まっていった。それは日本が世界の表舞台に登場するきっかけともなった。この大きな歴史の転換の中で、260年もの長きに渡った江戸幕府は終焉を迎え、明治政府が誕生することとなる。この幕末・明治維新という時代は、2つの相反する面でもとらえなければならない。それは幕府の封建社会の破壊という面と、欧米の先進国に追いつき、追い越すための近代日本をつくるという建設の面である。この両面において中心的な役割を担った人物はそう多くはないであろう。倒幕運動においては多くの有能な人材が活躍したが、その多くは非業の死を遂げ、あるいは急激な時流についていけず埋没するなど、明治新政府の舞台に登場することなく消えていった。

その中において武士であり、政治家であった大久保利通は、破壊と建設の両面において大活躍した数少ない人物の一人である。しかし偉大な人物でありながら、「冷酷な政治家」という印象が強い。それは廃藩置県の改革を断行し、大名や武士を一瞬にして路頭に迷わせた人物、また西南戦争において、盟友西郷隆盛を自害に追い込んだ人物、さらには最後は同じ元武士の手によって暗殺されたことなど、様々な陰のエピソードが多いからであろう。しかし、大久保の政治家としての信念ともいえる言葉『為政清明』からも分かるように、私利私欲を持たず、清潔で隠しごとをすることなく政治に取り組んだ人物ととらえる方が、正しいのではないだろうか。また、暗殺される日の朝、次のように語ったと言われている。「明治元年から10年の日本は、戦乱の多い『創業の時代』だった。これからの10年は、内治を整え民産を興す『建設の時代』である。さらにその先の10年は、優秀な後輩が後を継いで明治の日本を大きく発展させるだろう。」。ここから、誰よりも日本を愛し、日本の現状を憂い、これからの日本の進むべき道をはっきりと見つめていた人物像が浮かび上がってくる。大久保が中心となって行った様々な改革は、全て当時の人々に受け入れられたわけではなかった。それは短期間に一気に行われたこと、幕府時代の封建社会の名残がまだまだ根強く残っていたことが原因であろう。しかし大久保は苦悩しながらも、こういった強い信念があったからこそ改革を断行することができ、結果的には近代日本の礎を築くことになったのである。この大久保の政治家としての苦渋の決断を強いられた瞬間に子ども達を立たせることで、変革という幕末・明治維新の時代像に迫っていけるものと考えられる。

(2) 児童について

男子18名、女子16名のクラスである。授業に対して前向きな子が多く、意欲的に発言しようとする意識も高い。しかし事実問と思考問では挙手する子の数が明らかに違っており、思考問ではノートやワークシートにしっかりと考えを書いてあっても、皆にそれを伝えることに躊躇してしまう子がまだまだ多い。また自分の考えと比べながら人の発言を聞こうとする意識は弱く、考えを練り上げていきながら深めていく、建設的な話し合いまでには至っていないのが現状である。

社会科の授業では、歴史に興味を持っている子が多く、学習問題について解決していこうとする意識は高い。これまでの歴史学習では、当時の人々の立場に立って、願いや思いに迫らせる学習活動を行ってきた。しかし歴史事象そのものに対する理解が薄いままに、考えさせようとしてしまうことも多かった。今回は幕末・明治維新という、これまでの中でも特に複雑な要素を含んだ時代なので、事実認識をより丁寧に行った上で願いや思いに迫らせていきたい。

(3) 指導について

視点2 子供のこだわりが生きる学習活動の工夫

2枚の大久保利通の写真を提示することから、この学習をスタートさせる。和服姿の武士・大久保と、ス

一ツ姿の政治家・大久保である。この比較をこの間に起こった江戸幕府の崩壊と明治の始まり、さらには短期間の内に西洋化・近代化が進んだことを考えさせる足がかりにしたい。一次では、260年間も続いた江戸幕府が滅んだ理由を探っていく。そこでは、大久保たち若い志士を倒幕運動に駆り立てた「日本を外国に負けない強い国、豊かな国にしたい！」という思いについて考えさせる。二次と三次では、暗殺の日の朝に大久保が語ったと言われる言葉をキーワードに、明治の時代像をとらえさせていく。大久保が生きた10年を二次で、その後を三次で扱う。二次では、新しい国づくりのための諸改革や近代化が推し進められた背景にあった、大久保の苦悩を考えさせることで、「戦乱の多い『創業の時代』」をとらえさせる。また三次では大久保の願いはその死後も実現されていったのかという視点で調べさせていくことで、今日にも続く明治時代の文明開化や諸政策についてとらえさせていきたい。

視点3

子供のよさや可能性を伸ばす支援・評価

学習の足跡を教室掲示として残していくようにする。それを学習問題を考える際の一つの手立てとし、またいつでも振り返りながら学習を進められるようにする。そうすることで、幕末から明治維新を一つのまとまりとしてとらえられるようにしたい。また掲示には、ワークシートやノートのコピーも活用していく。互いにどのような考えを持って学習に臨んでいるのかが一目で分かり、より分かりやすいまとめ方や文章の書き方などを子どもが自ら学べるようにしていきたい。

4. 小単元計画（総時数7時限）

次	学習活動と児童の意識の主な流れ	○支援と◇評価		
<p>第一次 開国から倒幕へ ②</p>	<p>◎2枚の大久保の写真から時代の変化をとらえる</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1867年</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1871年</p> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・刀がそばにあるよ ・着物を着ているよ 武士だな ・こわそうな顔をしているよ ・こっちの方は優しそうだ ・洋服を着、帽子を持っているよ <p>・同じ人なのになぜこんなにも様子が違うの？ (たった4年の間にこんなに様子が変わったのはなぜ?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1868年に江戸幕府が滅び、明治時代が始まっているよ ・260年も続いた江戸幕府がどうして滅びたの？ <p>◎開国から倒幕までの流れを調べとらえる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> なぜ260年も続いた江戸幕府は滅びたのか </div> <ul style="list-style-type: none"> ・黒船が突然表れて日本中が大騒ぎになった ・その次の年に日米和親条約を結び、鎖国が終わった ・外国と日本の力の差は大きく、不平等な条約を結ばされた ・こんな弱い日本に対して強い不満を持った人々が多くいた ・将軍慶喜が大政奉還を行い、幕府は滅びた ・このままでは日本がだめになると考えた大久保のような若い武士がたくさん活躍したよ <p>(大久保たち若い武士はどんな国にしようと立ち上がったのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保たちは平和で誰もが平等な世の中にしようと考えた ・そのために外国に負けない位強い国、外国の文化を取り入れて発達した国にしようと立ち上がったんだ <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 黒船来航、開国により世の中は大混乱した。それをきっかけに弱い幕府を倒し、外国に負けない強い国、発達した国をつくろうと大久保をはじめ若き志士たちが立ち上がり、幕府を倒し新しい時代が始まった。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府が滅び、明治の時代が始まったよ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1867年</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1871年</p>	<p>○幕末～明治維新における、短期間での大きな変化と、明治時代の特徴である近代化に目を向けさせるため、2枚の大久保の写真を提示、比較させる。</p> <p>○考えを出し合う中で、問題意識を徐々に持たせるため、2枚の人物が同一人物であることや撮られた年代については、考えを出し合う中で適宜与えていく。</p> <p>◇幕末・明治維新の変化に着目し、問題意識を持つ。(関：発言・ノート)</p> <p>○まず黒船来航から倒幕までを概観させるため、年表に主な出来事を書き込ませる</p> <p>○黒船来航が倒幕の大きなきっかけとなったことをつかませるため、発表に合わせて日本人が描いたペリーの肖像画、浦賀一帯の各藩の配置図、ビデオなどを用意しておき、必要に応じて提示する。</p> <p>○明治国家が目指した日本の姿を意識させるため、幕末の動乱に活躍した志士たちが、立ち上がった理由について考えさせる。</p> <p>◇倒幕までの流れを知り、活躍した志士たちの願いを考えることができる。(知 思：ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1867年</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; margin: 0 auto;">大久保 利通の 写真</div> <p style="text-align: center;">1871年</p>			

◎大久保の言葉から、明治政府が行った諸改革について調べる②

- ・明治になってから大久保は政府の中心になったよ
- ・でも明治になってたった10年で暗殺されてしまった
(暗殺の日の朝に大久保が語った言葉を聞いてみよう)

これまでの10年は、戦乱を活め新しい方針を立ててきた。これからの10年で、国内の仕組みを整え国力を充実させる。ここまでが私の仕事だ。さらにその後の10年は、優秀な後輩が後を継いで、明治の日本を大きく発展させてくれるだろう。

- ・あと10年間日本のために仕事をしようと思っていたんだ
- ・大久保は新しい国づくりのためにどんなことをしたのかな

大久保は新しい国づくりのために何を行ったのか

- ・**廃藩置県**⇒新しい社会の仕組みをつくるため
- ・**四民平等**⇒身分の差をなくし、だれもが平等になるため
- ・**地租改正**⇒政府の収入を安定させるため
- ・**徴兵令**⇒強い軍隊をつくり、外国に負けない強い国にするため
- ・**学制**⇒誰もが平等に教育を受けられるようにするため
- ・**官営工場**⇒新しい技術を取り入れ、国を豊かにするため
- ・どれも大切な改革だけど反対する人々もたくさんいたよ

大久保は次々と改革を推し進め、外国に劣らない豊かで強い国にすることを目指した。しかし、反対の声も大きかった。

本 時

- ・大久保の願いはその死後、ちゃんと受け継がれたのかな

大久保の願い通り、明治の日本は大きく発展したのか

◎文明開化から明治の発展をとらえる
(人々の暮らしの中にどのような変化が表れたのか)

制度や技術：太陽暦、鉄道、電報、郵便など
生活の仕方：断髪、洋服、ガス灯、洋食など
考え方：『学問のすすめ』、書物、新聞など

- ・外国の文化をどんどん取り入れ急激に発展したよ
- ・今の生活のもとになった物が多いよ

◎自由民権運動と国会開設、憲法成立から明治の発展をとらえる
(優秀な後輩たちはどのようなことを行ったのか)

- ・「広く国民の意見を聞くべき」という考えが全国に広がった
- ・板垣退助や大隈重信が国会の開設に努力した
- ・伊藤博文は大日本帝国憲法をつくり上げた

大久保の願いはしっかりと受け継がれ、現代にも続く文化が生まれくらしが良くなり、国民を大切する平和な国家がつけられられた。

○明治政府が行った改革を大久保という人物を通して考えさせるため、大久保が政府の最高権力者となったことを知らせる。

○明治時代を維新と発展という2つの区分でとらえさせるため、大久保が暗殺される直前に語った言葉を提示し、読み取らせる。

○明治政府が目指した日本の姿を実現させるために諸改革が行われたことを理解させるため、改革の内容だけではなく、なぜその改革を行ったのかも考えさせる。

○各改革に反対した人々の姿をとらえさせるため、誰が反対したのかはつきりとさせる。

◇明治の諸改革について調べ、それぞれの意義について考えることができる。(観 思：ワークシート)

○西洋文化の取り入れに目を向けさせるため、一次で扱った大久保の姿を想起させる。

○変化が様々な分野に及んでいることをとらえさせるため、個々の事象にはあまり深入りさせないようにする。

◇日本の西洋化と社会の急激な変化を関連させながら考えることができる。(思：ワークシート)

○自由民権運動を民主的な政治を求める運動をとらえさせるため、国会開設の要望が全国各地にあったことを伝える。

○政府と民衆の対立をとらえさせるため国会開設や憲法発布と自由民権運動の高まりを関連させながら考えさせる。

◇国会開設の動きや大日本帝国憲法の内容を理解し、大久保願いが実現されたことが分かる。(知：ワークシート)

5. 本時の学習（第二次中の3時）

(1) 題目 廃藩置県断行！その時大久保は？

(2) ねらい 廃藩置県を行った時の大久保の苦悩の姿に迫ることで、新しい国づくりにかける強い思いについて考える。

(3) 学習過程

学習活動と児童の意識の主な流れ	時	○支援と◇評価
<p>1. 前時を振り返り問題意識を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保はいろいろな大事な改革を行ったよ ・でも6つの内4つの改革には反対する人がいたよ (廃藩置県はどうだろう?) ・国を一つにまとめるためには欠かせない改革だったよ ・でも藩がなくなると困った人もいたんじゃないかな <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>廃藩置県はどんな人々に反対されたのか</p> </div>	10	○問題意識を持たせるために、反対があった改革とそうでないものを前時を振り返りながら分類し、反対があったかどうかははっきりしていない廃藩置県に意識を向けさせる。
<p>2. 学習問題について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藩がなくなって一番困ったのは大名だろう ・江戸時代に大きな力を持っていた大名に反対されたら大久保も辛いだろうな ・大名に仕える武士たちも大名がいなくなって困っただろう ・農民は年貢を納める先が変わっただけで苦しいのには変わらなかったよ ・政府の中にも否定的な意見があり武士たちが反対して国が乱れると考えた人もいたんだ ・180万人の武士とその家族が職を失い生活に困ったんだ! ・大久保も武士だったので同じ仲間を困らせるようなことをしたのだろう <p style="text-align: center;"><なぜ大久保は多くの人に反対された廃藩置県を行ったのか></p>	20	○学習問題に対して考える資料として、様々な身分の人々の反対していたこと、同じ政府高官の中にも時期尚早という意見や、武士の反乱を恐れ反対する意見があったことを文章資料として提示する。
<p>3. 大久保の思いについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士がいると戦のきっかけになると考えたからかな ・反対されても日本を一つにまとめることが新しい国づくりに必要になったから (大久保は廃藩置県を行う直前にこのように語った) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>『今日のままにして瓦解せんよりは寧ろ大英断にて出て瓦解したらん』 (藩を残したままで、これからの政治を行っても上手くいかないのは分かりきっていて、結局は明治政府がつぶれてしまうだろう。どうせつぶれるのなら、このさい思い切って藩をなくし、その上でつぶれた方がいいではないか。)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保は明治政府がなくなる位の覚悟で廃藩置県を行ったんだ ・それだけ大久保の新しい国づくりに対する気持ちは強かったんだな 	10	○問題意識をさらに深めるため、武士とその家族180万人が職を失い、生活に困ることになったことを知らせる。
<p>4. 振り返りをする</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px;"> <p>廃藩置県は元武士の大久保にとって、とても苦しい改革だった。しかし日本の将来を見つめていた大久保は、これからの日本がよりよいものになることを誰よりも願っていた。だからこそ強い気持ちで改革を行うことができた。</p> </div>	5	◇改革を行った大久保の苦悩から、新しい国づくりへの強い思いを考えることができる。 (思：発言、ノート)